

検査拡充 早期治療へ転換を

「第7波」の到来。参院選公示日の6月22日に全国で1万7,102人となり、過去最多を更新しました。

「コナ 第7波」

急速な感染拡大について

専門家は感染力が強
いオミクロン株の別系統

海外流入が加速

す。6月1日以降、香港
検疫なし水際対策の緩和
を一気に進めたことで、
「外国からのBA.5」

の流入を加速させたとい
います。

「BA.2」から、さら
に感染性が高いとされる
「BA.5」への置き換

は重症化が少ないとし
たりを指摘します。

沖縄県でコロナ医療に
携わる筑波大看護教授の
德田安春医師は、「BA.
5」が免疫をすり抜ける
性質をあげ、「ワクチン接種

によって、「海外ではそうい
う状況のなかで経済活動
を回していく」ともあつ
た。日本ではオミクロン株
に対する警戒感が低

て、「ウイルスは2週間
に1度、変化する。常に
変化をする相手だ。臨機
応变に必要な対応も変化

していく」と強調。ゲノ
ム(遺伝子)解析によつ
て、ウイルスの監視体制
を維持する重要性を次
のように語ります。

感染拡大は、「かなり厳
しい状況になる」と警戒
感を募らせます。「重症
者は少なくとも軽症者が
大量に発生すれば、結果



徳田安春氏



二木芳人氏

新規感染者11万人超 専門家はどう見る

岸田文雄首相は14日の記者会見で、「現時点で行動制限することは考えていない」と表明しました。その背景について、「いまのところ重症者は死亡者は低い水準にある」と述べ、これまでのコロナ対策を継続する考え方を示しました。

二木氏は「重症者数が増加してから慌てるのではなく、これまでと同じことの繰り返しだ」と指摘します。その上で、行動規制を考える必要はあるものの、従来のような飲食店の営業時間短縮やアルコールの提供禁止などを批判します。

アクセス不十分

二木氏は「ウィズ検査」を提唱。無料検査を拡充し、早期の治療へつなげる戦略へと転換すべきだといいます。しかし、現状では「科学的根拠がない」と強調します。

徳田氏は「ウイズ検査」を提唱。無料検査を拡充し、早期の治療へつなげる戦略へと転換すべきだといいます。しかし、現状では「科学的根拠がない」と強調します。

「新規感染者が急拡大したこと、重症化リスクを下げることは可能だと指摘されています。しかし、東京大学医学研究所の佐藤佳教授らの研究によると、動物を使った実験ではウイルスが肺で増えやすい特徴が見られたとして、以前よりも「重症化リスクが高い可能性がある」ことがわかりました。

した。その背景について、「いまのところ重症者は死亡者は低い水準にある」と述べ、これまでのコロナ対策を継続する考え方を示しました。

二木氏は「重症者数が増加してから慌てるのではなく、これまでと同じことの繰り返しだ」と指摘します。その上で、行動規制を考える必要はあるものの、従来のような飲食店の営業時間短縮やアルコールの提供禁止などを批判します。

アクセス不十分

二木氏は「ウィズ検査」を提唱。無料検査を拡充し、早期の治療へつなげる戦略へと転換すべきだといいます。しかし、現状では「科学的根拠がない」と強調します。

徳田氏は「ウイズ検査」を提唱。無料検査を拡充し、早期の治療へつなげる戦略へと転換すべきだといいます。しかし、現状では「科学的根拠がない」と強調します。

「新規感染者が急拡大したこと、重症化リスクを下げることは可能だと指摘されています。しかし、東京大学医学研究所の佐藤佳教授らの研究によると、動物を使った実験ではウイルスが肺で増えやすい特徴が見られたとして、以前よりも「重症化リスクが高い可能性がある」ことがわかりました。

岸田文雄首相は14日の記者会見で、「現時点で行動制限することは考えていない」と表明しました。その背景について、「いまのところ重症者は死亡者は低い水準にある」と述べ、これまでのコロナ対策を継続する考え方を示しました。

二木氏は「重症者数が増加してから慌てるのではなく、これまでと同じことの繰り返しだ」と指摘します。その上で、行動規制を考える必要はあるものの、従来のような飲食店の営業時間短縮やアルコールの提供禁止などを批判します。

アクセス不十分

二木氏は「ウィズ検査」を提唱。無料検査を拡充し、早期の治療へつなげる戦略へと転換すべきだといいます。しかし、現状では「科学的根拠がない」と強調します。

徳田氏は「ウイズ検査」を提唱。無料検査を拡充し、早期の治療へつなげる戦略へと転換すべきだといいます。しかし、現状では「科学的根拠がない」と強調します。

「新規感染者が急拡大したこと、重症化リスクを下げることは可能だと指摘されています。しかし、東京大学医学研究所の佐藤佳教授らの研究によると、動物を使った実験ではウイルスが肺で増えやすい特徴が見られたとして、以前よりも「重症化リスクが高い可能性がある」ことがわかりました。

した。その背景について、「いまのところ重症者は死亡者は低い水準にある」と述べ、これまでのコロナ対策を継続する考え方を示しました。

二木氏は「重症者数が増加してから慌てるのではなく、これまでと同じことの繰り返しだ」と指摘します。その上で、行動規制を考える必要はあるものの、従来のような飲食店の営業時間短縮やアルコールの提供禁止などを批判します。

アクセス不十分

二木氏は「ウィズ検査」を提唱。無料検査を拡充し、早期の治療へつなげる戦略へと転換すべきだといいます。しかし、現状では「科学的根拠がない」と強調します。

徳田氏は「ウイズ検査」を提唱。無料検査を拡充し、早期の治療へつなげる戦略へと転換すべきだといいます。しかし、現状では「科学的根拠がない」と強調します。

「新規感染者が急拡大したこと、重症化リスクを下げることは可能だと指摘されています。しかし、東京大学医学研究所の佐藤佳教授らの研究によると、動物を使った実験ではウイルスが肺で増えやすい特徴が見られたとして、以前よりも「重症化リスクが高い可能性がある」ことがわかりました。